静岡 ユースサッカー
THE YOUTH SOCCER

9月1日水曜日
昭和51年（1976年）

昭和49年5月1日第三種郵便物認可

発行所
静岡県清水市サッカー協会
発行人　協会理事長堀田哲爾
編集人　サッカーニュース社
二本木一夫
清水市辻町5丁目1の31
電話(0543)67-1970清水ゴール
編集専用電話66-5282(代)

毎月1回1日発行　1部20円

PEPSI

全清水6年全国大会二連覇

第一回戦は23得点・新記録で大勝！

八月九日から十四日まで六日間、東京よみうりランドで行われた第十回全国サッカー少年団大会において全清水六年は昨年に続いて優勝、全国から集まった三十二チームのチャンピオンになった。

▼"すべての力をチームのために"のたれ幕の前で力いっぱいがんばったイレブン　▲写真は手のケガも何のそのシュートをはなった堀田

四チームリーグ戦の一回戦は沖縄と対戦。一方的に攻めまくりほとんどボールをふれさせることなく前半14点後半はワンタッチプレーで展開、結局23点を入れた。

関東リーグには21点の試合はあったが23点とは公式試合でははじめて。もちろん全国少年大会では新記録。

もっともどのチームも沖縄に同情的であった。

試合終了後、全清水選手が相手チームプレーヤーと笑いながら話しているのが特に印象的だった。

二回戦で初失点

千葉夏見チームとの二回戦で対戦、大きくなってにけるや、苦戦。特に前半、初の失点で0対1、後半になってやっと調子をとりもどし一方的に攻め合計7得点。

リーグ最終戦は大苦戦

決勝リーグ進出は決まっていた予選リーグ最終戦の川副町少年団とは攻めても攻めても点にならず苦戦、二本目の失点もあり3対1しかしシュート数は2本と一方的。

準々決勝

北海道代表の手稲鉄北と対戦。広島、奈良、神奈川を破っての決勝トーナメント初出場であったが前半5点、計9得点。特にかべパスとドリブルの攻撃がすばらしく、グランドに集まった見物人を楽しませるプレーの連続であった。

予選三試合の得点33 失点2で準々決勝に進出

準決勝

九州代表若松との対戦。身体はひとまわり大きくスピードもあり清水も今までのような自由なプレーができるか疑問とされていたがキックオフ3分、トップの堀田が右に大きくドリブル、いきなり決めて先手をとると後半はバック川島が三十メートルの強烈なロングシュート、つづいて青島のシュートと3対0の快勝。

決勝

東京代表の府中ク少年団、読売大会にも優勝している関東一のチーム。しかし全清水の敵ではなかった。

前半は0対0のままであったが後半3分、鍋田のセンタリングを青島が決め、13分には望月からのボールを久保田が決め完全に清水ペースでこれまた快勝した見物人を楽しませるプレーの連続であった。

優勝はすべての人の協力のおかげ！

指導者、育成会員、各少年団の所属する学校長、そして清水市スポーツ少年団本部、全ての人々の期待の熱意が今ここに開きはじめている。

イレブンのほかに多くの人の協力を得て勝ちぬいた優勝。いま全ての人々に感謝したいと少年達は静かに語った。

十二番目の選手

準々決勝から決勝までは全く十一人で戦った。いつでも出られるよう準備をしていたサブの五名、最後まで選考であらそいながら残念ながら遠征もれになった八名。しかし全清水のメンバー全員が共によろこび合える優勝ではなかったか。さわやかに、美しい優勝だった。全清水をめざすすべての人の協力のおかげ！

全てのプレーヤーに今の感激をわかち合ってほしいものである。

手首を折っても

準々決勝でゴールキーパーとバックとせり合って左手首を骨折した堀田君、医者もやめた方がいいといってもどうしてもやると鈴木中島両コーチにも許可を得て出場、準決勝では見事先制点。決勝ではだめおしの追加点の大活躍であった。

テレビ静岡で

少年全国大会には過去決勝進出は藤枝一、静岡一、清水三と、十回の大会で今年を入れて六回目。日本テレビで放映しているにもかかわらず静岡県ではブラウン管にのらなかったが、今年はテレビ静岡に登場。二十二日の日曜日一時間にわたって県民の目を楽しませてくれた。

日本の少年サッカーをリード

勝って感じるわけではないが清水と全国との差は大分あった。

いまリードしてくれているのは清水だけ（四国の快勝。

準々決勝

九州代表若松との対戦。身体はひとまわり大きくスピードもあり清水も今までのような自由なプレーができるか疑問とされていたがキックオフ3分、トップの堀田が右に大きくドリブル、いきなり決めて先手をとると後半はバック川島が三十メートルの強烈なロングシュート、つづいて青島のシュートと3対0

全国サッカー少年団大会総評

全国大会二連勝を事もなげになしとげた全清水の参加で盛り上がった第十回大会も無事終了、少年達に数々の想い出を残した大会であった。と共に今後の少年サッカーのあり方を示した一つの大会であったといってもいいい過ぎではない。

予選リーグから全清水の話題ではじまり、最後の決勝までこれが続いた。

少年サッカーの場合は何よりもプレーと生活がむすびついていることが明らかになった大会参加三十二チームの中で自分の洗たく物を洗い、自分達の時間を充分生かしていたチームが最後まで勝ち抜いた。特にその中で全清水は時間をむだにしないチームであった。

九時十五分には完全に消燈、洗たくは常に自分でやることを心がけていたのが印象的だった。

技術的にもバランスがとれていた。まずボールのストップは鍋田を代表できるように足先にピタリと止まり、常にスピードの変化でボールをうばわれないドリブルができ、どんな場面でもシュートの打てる能力は高い水準の基礎技術からなっていた。

その高い技術の上にある戦術は自由の中に個性を生み出し強弱、長短、方向等に配慮されたボールはもちろんであり、質の面にもカーブを取りいれたキックがみられ、見ている者にも"優雅さ"がうかがわれた。

いまや日本少年サッカーをリードしているといってもいいすぎではない。特に中学校、高校大会が力にたよりすぎるきらいがある時個人技術をみきわめ堂々と力のサッカーに対抗し、チームに生きる個の育成をこころみる指導者には敬意を表したい。

いまや日本のサッカーを育てる意味からも今後中学校での個の指導とサッカーに向かってのとりくみができる人間づくりができる態勢と指導者づくりをこころみて、大切な清水の宝物を育ててほしいと心から願い、期待したい。

PEPSI

少年サッカー指導教程 ③

日本サッカー協会公認コーチ　堀田哲爾

《実戦的なドリブル》
理論と練習

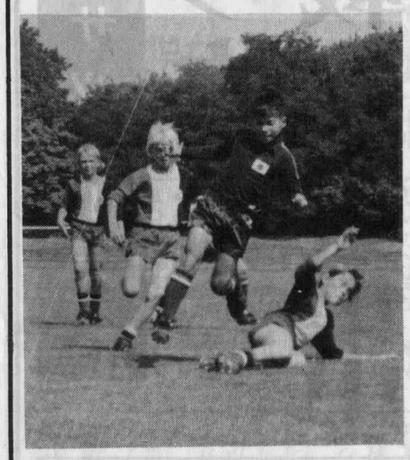
○一人だけぬいてもだめ

ドリブルで相手をぬきさることはプレーヤーとして大変楽しい。しかし相手をぬく場合常に次の相手をぬくことも頭に入れてドリブルすることだ。

○ドリブルの最後は仕事して終われ

ドリブルシュート、パス等ドリブルはいつも味方のためになる仕事ができることが大切である。相手のキックで終わるドリブルは失敗である。そのためにはいつでも仕事ができるようなドリブルの型を身につけることである。味方の合図の方向にけられることも大切なドリブルの要素であり前に進むだけがドリブルではない

対敵動作は自分が進む方向で仕事をすることからはじまるが、ドリブルする人はいつも前へ進むことを考えるべきであるが、進み方はただボールを前に運べば良いというものではない。



○スピード、方向を変えよ

いつも同じリズム、同じスピードを持ったドリブルは相手によまれやすい。スピードの変化こそフェイントにもなり絶対条件であるボールの方向を変え、身体の方向をも変えることも大切である。

○バランス訓練を充分つけよ

ドリブル練習はボールコントロールも大切だが何よりボディーバランスが必要である。前後、左右、高低、回転等の変化にたえうるバランスこそ大切である。

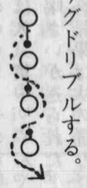
○まわりを見る

まわりを見る能力は単にまわりを見るだけでなく、その場をよんでプレーヤーが何をすべきかを短時間に判断し、実行しなければ見た価値がない。目で見る、首をあげることはあくまでも型であって大切なことはその場面を読むことである。

○能力を開発するために

▽一人一個のボールをグランド全面でドリブル、相手と声をかけボールを交換する。また指導者の合図とともに近い者との交換も考える。

▽ボール一人一個一列になりドリブル。前方よりボールを持ちジグザグドリブルする。



▽ボール一人一個のチームを二手に分け30mの間かくを置く。合図とともに向い側に大きくキックする。

同様ゴール前での練習の場合はシュートをさせる。

全清水五年 中日本少年優勝を飾る！

全清水五年は上野市で行われた中日本少年親善大会に出場、中日本各地より出場の六年生チームを大差で破り初優勝した。

当大会伊賀上野青年会議所と上野サッカー協会主催の大会で、十一県より十六チームの参加で行われた。静岡県からは全藤枝と全清水が出場、他には京都の花園、大阪の枚方、東京の町田、兵庫の尼ヶ崎、浦和の木崎、愛知の刈谷、広島の大河岐阜の全岐阜、滋賀貴生川、地元の鈴鹿比奈知、三重郡、上北、上野南が参加した。

全清水は鈴鹿に90、町田に勝った貴川と二回戦にあたり対0、準決勝では藤枝を破った京都花園に対0と大勝、決勝に進出。

同じく三重郡の楠上野南、準決で刈谷3対0で破った浦和崎が進出してきた。

前半木崎の攻めはく何回か清水ゴールをおそったが行徳、植田ゴールキーパーの望月の好守で防いだ。しかし16分ついにゴールをわられ前半は1対0。

後半にはいって浦和のスピードにもなれ、左右のウイングの使い方もわかり、特に小長井のドリブルからのセンタリングはすばらしかった。12分これが得点にむすびついた。小長井、長谷川とわたったボールを大塚が決め同点となる。

この頃から浦和のチャージがはげしく、特にゴール前でのキッキングやフォールディング、プッシングが目立ち、PK寸前が何回かあったが十七分ついに小長井をつっかけた反則でPKを得、大榎キャップテンが左すみにきめ2対1と逆転、初優勝を飾った。

中日本の優秀チームの中で特に五年チームとして出場し、平均十センチ大きな六年生を相手にすばらしいゲームを展開してくれたことは大変大きな収穫だったこととこの自信は来年の全国大会へもつながるものと期待したい。

押見、望月、両コーチの指揮ぶりも見事ながら、父兄の協力も大きなものがあり感謝したい。

大会で飾る！

◆全国サッカー少年団大会試合成績

第一日目
▽第一次予選リーグ
全清水23—0 沖縄宇賢みどりキッカーズ

第二日目
▽第一次予選リーグ
全清水7—1 千葉夏見サッカー少年団

第三日目
▽第一次予選リーグ
全清水3—1 佐賀川副町サッカー少年団

第四日目
▽準々決勝
全清水9—0 北海道手稲鉄北サッカー少年団
▽準決勝
全清水3—0 福岡若松サッカー少年団

最終日
▽決勝
全清水3（0—0、3—0）0 東京府中

四日市サッカー10周年記念 全清水六年 藤枝を破り優勝

四日市サッカー創立十周年記念近県少年サッカー大会は八月一日より三日間、四日市中央緑地公園で開催された。

出場チームは名古屋藤枝、浦和宮代、三重郡、四日市、岐阜、浜松、神戸、清水の九地区十チーム。真夏の太陽の下で一日二試合の予選リーグ。静岡県代表全清水、全藤枝、全浜松は各地区代表を接戦の末破り上位を独占した。

この大会出場チームは日本国内でも最強チームの集まりとあって一回戦から好試合を展開、Aブロックでは藤枝と三重郡、そして埼玉県代表として全国大会出場の宮代が同率わずかに点差で藤枝がトップで決勝に進出したBブロックでは全清水六年が初戦で神戸と引き分け異例の延長戦で2対1で敗れ苦戦、浜松に勝ってこれまた浜松と同率首位点差、得失点差も全く同じ、リーグ規定ならばさしずめ対戦成績の結果またはPK戦、抽選となるところだが本部決定の再試合となった。

三日目の八月三日は雨中戦、浜松との試合は朝九時からのキックオフ、両軍決め手なく延長戦前半、浜松中央突破で得点、決まったかにみえたが後半猛反撃、中央から望月、堀田、青島ときれいにわたりふりだし、PK戦となる。PK合戦は全清水が後攻め、浜松が一発目はずすと鍋田GKの真正面で得点ならず、二番手浜松得点清水は青島またもや正面で無得点。三番手浜松きれいに決め2対0、三番手望月まではずし万事窮す！しかし最後まで勝負をすてない全清水四番手のキックをゴールキーパー山田きれいに押さえて四番手塚本につなぎ塚本決めて2対1、五番手浜松のキックを山田またきれいにパンチングでふせぎ清水浄見が決め同点。六番手浜松大きくはずし清水北村が決め大逆転、三度死にかけたチームが生き返えった。

決勝は藤枝とは一方的左右にふる大きなキックとシュートは目を見はるものがあった。後半13分鍋田のセンタリングを堀田がきれいにヘディング、アーセナルシュートで決め初優勝を飾った。

苦しい中からの優勝として高く評価される勝利であった。

サッカー日本リーグ 8月28日開幕！

サッカー日程
（前半第5節まで、▲はナイター）

【第1節】8月
28日(土)トヨタ—フジタ（▲トヨタ）
ヤンマー—東洋（▲神戸）
29日(日)鋼管—永大（三ツ沢）
新日鉄—古河（北九州）
30日(月)三菱—日立（▲国立）

【第2節】9月
3日(金)フジタ—新日鉄（▲西が丘）
5日(日)古河—鋼管（三ツ沢）
永大—ヤンマー（草薙）
6日(月)日立—トヨタ（▲西が丘）
東洋—三菱（▲広島）

【第3節】
10日(金)三菱—永大（▲国立）
11日(土)フジタ—新日鉄（▲トヨタ）
ヤンマー—古河（▲神戸）
12日(日)日立—東洋（盛岡）
13日(月)鋼管—フジタ（西が丘）

【第4節】
18日(土)古河—三菱（▲国立）
東洋—トヨタ（▲広島）
19日(日)永大—日立（平生）
新日鉄—鋼管（北九州）
フジタ—ヤンマー（▲国立）

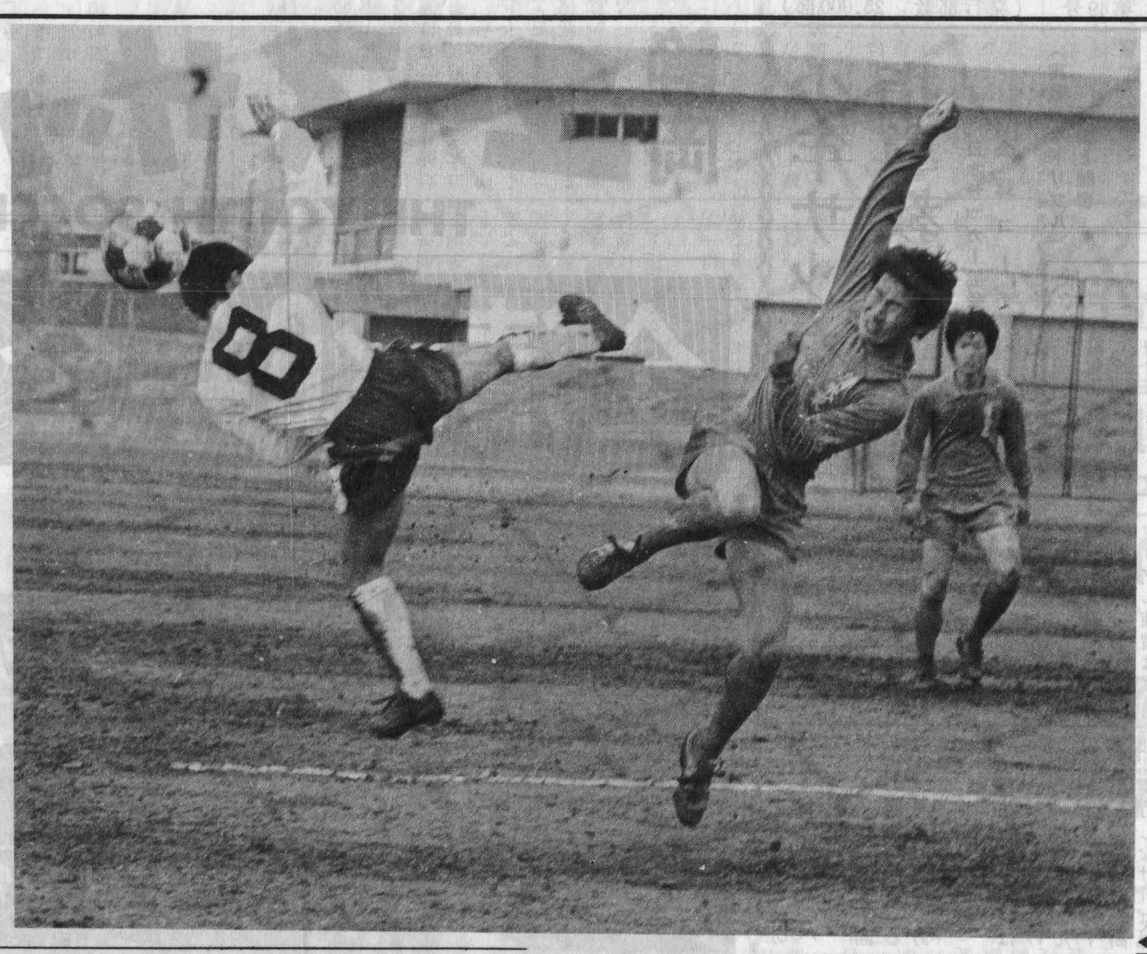
【第5節】
24日(金)日立—古河（▲国立）
25日(土)トヨタ—鋼管（▲トヨタ）
東洋—永大（▲広島）
26日(日)ヤンマー—新日鉄（沖縄）
27日(月)三菱—フジタ（▲西が丘）

編集ノート

全清水少年団の夏の行事計画は予定通り順調に消化され、予想された通り少年たちは東西に大活躍した。彼等が中学から高校へと、たくましくサッカーと共に成長してくれることを期待したい◆高校野球の優勝は無名の桜美林が手中にした。名門強剛が早々に消え、全試合四十の中で十六試合が一点差で印象に残った。全試合がテレビ放送の、夏の甲子園野球。正月サッカーの高校選手権が地域差もなく、全試合がテレビの電波に乗る日はいつかと期待している人たちの夢が、深紅の大優勝旗を授与される、高校野球フィナーレの画面を今年も走り抜け、夏は終った◆ロッキードに明け暮れての七ヶ月が自民党内の抗争に移り、第二次の高官逮捕があれば野党議員の逮捕もあり、保守も革新も連日、朝、夕刊の紙面で黒い汚い金の記事に大見出しで登場している。そしてこの混迷の中で公共料金の両横綱、電気料金と米価の二ケタ値上げは九月に決った。八月二十三日のスーパーの売場には安い大衆米が消え黒い高官の故郷の米だけが残っていた。（二本木）

第29回港まつりサッカー大会

チビッ子サッカー チャイルド戦に人気集中



今年第二十九回目をかぞえる清水港まつりサッカー大会は、全国から最強の中学生チームを集め、八月八日、市営グランドにて行われた。中でも毎回呼びものの、チビッ子の対戦には人気集中、やんやの喝さいが送られた。試合結果は次の通り。

なお刈谷はこの試合後アメリカに出発した。

◀写真上は高校の接戦　下はアメリカへ行った刈谷チーム

港まつり大会試合結果

チャイルド白4－0チャイルド赤
全清水3年0－4全清水4年
刈谷2－2全清水中2
西益津中0－1全清水中3
広島OFC2－1全清水中1
全静岡OB3－3全清水OB
全社会人2－2全清水高校

少年サッカーとチームプレー

要求できるプレーヤーになれ

夏休み中、全国少年大会をはじめ中日本大会、西日本大会、つま恋大会と少年の試合を数十試合見せてもらった。これらのゲームの中で良いチームには必らず良いリーダーがいた。しかもリーダーにはいろいろな種類があることに気づいた。

ただ黙々と動いて味方のためにプレーしているリーダー、声をだして元気づけているリードオフマン、味方に指示を与えその動きにそって好パスを送っているプレーの中でチャンスメーカーの役、どちらかというとハーフとかバックにこれらのリーダーは配置され、地味な役割を果たしながらチームの土台を作っている感じが大きい。

こんなことを考えた時、フッと釜本選手が話していたことが思い出される。

『私は点を入れるためにフォワードセンターをやっている。だから私が点を入れることができるために最大の努力をしているし、味方にも努力してもらうそのために他のプレーヤーに要求することが多い』という意味のことを話されたことがあった。

私はこの言葉が大好きであり、これは釜本選手が最大の努力をしているからこそ他のプレーヤーに要求できるのだと思う。

少年のプレーヤーの中にも自分がやらなければならないことをやっていないで高い要求をすることがときどきある。例えばパスアンドゴーという基本の戦術でもパスして走ってこそ、この方向にボールをほしいと相手側にも要求できることであり、これが戦術の大前提になるはずである。

サッカーのゲームの中では味方の十人にいろいろな要求をするべきである。しかし要求する者は必らず自分のやるべきことをやっている者だけに与えられるものであるはずである。

権利と義務はサッカーの中でも生きているのである。（哲）

PEPSI

第三回つま恋招待サッカー

全清水五・六年そろって優勝！

第三回つま恋招待サッカー大会五年の部は県下最強チーム六チームを招き掛川市長・榛葉虎之助名誉会長列席のもとに盛大に行われた。

初戦不戦勝の全清水は準決で静岡に前半2点を失い苦戦したが、大塚のクリーンシュート等で4対2としりぞけ、決勝では藤枝を前半3対0、後半増田に1点返されたが長谷のタイミングのよいユートで2点追加、局5対1の大差で優した。

なお最優秀選手に清水の長谷川健太君得点王には藤枝の増義彦君が選ばれ、八茂育成会長よりトロフィーを贈られた。

全清水六年は決勝戦で藤枝を圧勝！

県下の強チーム八チームを集めて行われた六年生大会は全清水が苦戦の連続、一回戦、二回戦ともにPK戦で勝ち進むほど各チームが善戦した。

初戦清水は浜松と対戦、0対0のままPK戦。PK戦も九人目で結着のつくほどの接戦だった。

準決勝も富士宮がメンバーの落ついている全清水に前半2対0とリード、後半になってもゆずらず3対3のままPK戦、これは富士宮が三人の内二人がおとし簡単に決まった。

決勝は藤枝と清水、ここでやっと調子をとり戻し4対0と圧勝、日本一の実力をやっと出してくれた。

浜松は敗者復活で掛川、静岡を破り敢闘賞を獲得。得点王に富士宮の秋山、最優秀選手はPK戦で活躍した全清水GK山田君に決まった。

第一回さわやか少年大会

テレビ静岡と県育成会 9月15日共催で開幕！

テレビ静岡主催、静岡県サッカー少年団育成会共催の第一回さわやか少年サッカー大会が開催されることになった。

これは今まで県下の少年サッカーがテレビ管にのせる計画では出演する機会が少ないに現状を見て、すばらしいサッカーをブラウン管にのせる計画ではじめるもの。

第一回大会は少年団各支部八地区より選出された優秀チームによるトーナメント大会で九月十五日（敬老の日）に開催されて、全国優勝した全清水、四日市大会で清水を苦しめた浜松、今度こそはとはりきる藤枝、地区の情熱で進歩いちじるしい焼津、学年別編成で力をつけてきた静岡、由比中心の庵原地区代表チーム数も県下一の東部、とそれぞれの特色のあるチームが八チームで熱戦が期待される。

テレビ放映は日曜日の四時十五分より一時間番組で準決以上のゲームをブラウン管にのせる計画期待される大会として、注目されている。

全国少年サッカー連盟（仮称）準備委員会名簿

所属	氏名	自宅	勤務先
日本協会	日本サッカー協会理事		
	田中純二	松山市東石井町67－14 0899－56－4852	愛媛大学教養部 0899－43－7111内線3848
	堀田哲爾	清水市七ッ新屋 291 0543－45－1863	清水市立清水小学校 0543－53－3341
	大沢英雄	川崎市多摩区高石 225 044－966－3588	国士館大学 03－422－5341
北海道	荒　友一	札幌市南区白山 345－15 011－591－6994	北海道漁業信用基金協会
東北	佐藤利雄	名取市関上字東場88－3 02238－5－2095	仙台市立六郷小学校 0222－89－2157
北陸	駒沢一彦	新潟市汐見台県営住宅 0252－66－4981	
関東	水本勝彦	世田谷区弦巻3－27－7 03－420－7026	品川区立大原小学校 03－782－0017
東海	小島鋼雄	清水市押切 450 3－321　0543－65－9747	清水市立有原第二小学校 0543－45－2391
関西	師田二郎	尼崎市東富松小布風川 497－1 06－438－6664	阪神シャッター工業 06－482－2211
中国	浜本敏勝	広島市山城町5－36 0822－51－6788	広島市立大河小学校
四国	妹尾　勝	高松市春日町1626 0878－65－3728	
九州	緒形健二	熊本市長嶺町3045－3 0963－80－3389	熊本県サッカー協会 0963－56－2111

サッカー日本リーグ

ヤンマー対永大 9月5日草薙で

五十一年日本リーグは八月25日より開始されるが、その第二節の名門ヤンマー対永大の試合が草薙で行われる。

大久保氏から塩沢氏に指導者のかわった永大に対し、リーグ三連勝をめざす釜本を有するヤンマー、好試合が期待できよう。

第三回つま恋招待サッカー

全清水五・六年そろって優勝！

ドイツユーゲント

港まつりサッカーに特別参加！

日本スポーツ少年団と同時交流を実施しているドイツスポーツユーゲントの選手四名が八月八日清水港まつり会場に現われ、いっしょにサッカーのゲームを楽しんだ。

一行はウェルテンベルク地区の代表でユルゲン・ヘーベル氏、フルベートウェルズ氏の男性二人に、ミス・モニカ・ダイニンガー、ミス・ミクリン・アイセンマンの四名。一行は岩崎茂スポーツ少年団本部長より記念メダルを首にかけてもらい大よろこび。OBとの試合にはセンターフォワードとして出場、女性ながらアッパレのプレーが多かった。

全国少年団組織準備会発足委員決まる！

八月十三日は日本少年サッカーにとって記念すべき日となった。

十年来全国的組織づくりに努力した日本サッカー協会にはじめて全国サッカー少年団連盟をつくることが各地区代表委員によって確認された。

この連盟の事業については期待するものが大であるが、ここに準備委員を記し全国的な組織に期待するもの、質問等はぜひよせられたい。

サッカーとわたし　山本千夏子（8才）

わたしは　サッカーがだいすきです。だから　サッカーに　はいりました。

まいにち　サッカーをやっていると、からだがじょうぶになり　走るのが　早くなるとおもったからです。

サッカーにはいったばっかは　六年のおにいさんたちが　おしえてくれました。

はじめたばっかりは足がいたくていたくてサッカーをやるのがたいへんでした。けれども　もうなれてしまいました。

でも一か月サッカーをやめなければならなくなりました。どうしてかというと　おいしゃさんが　かぜがひどいから　やってはだめだというのです。

「ああ　つまんないなあ。」はやくヘディングをやりたいな。

市民大会

育成会の部はトーナメントで

五十一年市民大会サッカー育成会の部は九月十一日より予選大会を開き十月三日市営で準々、準決のあと、十月十日の決勝となる。

昨年優勝の有一、リーグ優勝の清水、飯田力をつけてきた東海、不二見、不気味な興津と不二見、練習量豊富な江尻と有二、全く予想はつけにくいが、各試合熱戦が予想される要項は次のとおり。

市民大会サッカー育成会の部実施要項

○期日　昭和51年9月17日㈮夜　24日㈮夜　10月3日㈰　10日㈰1日㈮夜
○場所　夜間…有度一小　清水小　高部小　袖師小
　3日…市営　10日…一中
○参加選手の資格　各サッカースポーツ少年団員の親と指導者（直接児童を常に指導している者。特別育成会員は認めない）
○参加申込み　各サッカースポーツ少年団で1チーム。夜間照明を使用する関係で500円
　8月30日㈪　教職員バレーボール大会の日までに申し込む
○メンバーの常時出場者の規定　指導者は1名　他は親
○出場した者の交代について　一度退場した者は再度出場できない。（11名でもよい）
○その他は育成会リーグの規定を用いる。
○問い合わせはTEL45－7010高部小学校
　65－5526自宅　斉藤和明

清水社会人チーム紹介

中央精工サッカー部

監督　神谷淳一
マネージャー　望月金一
創立年月　49年10月

チームの発足は昨年の十月で、体文教の試合が最初です。当時はユニホーム、パンツ、スパイク等なにもなく試合のほうも二回戦で敗退しました。

今年度より社会人リーグに入らせていただき、ユニホームを着て試合をすることになりました。

我々のチームはメンバーは登録当時十三名でしたが、現在は十八名になり、試合の内容も少しずつ良くなってきました。良くなったといっても、まだまだ他のチームからみれば差はあります。しかし部（会社のチームでなくクラブチームですが）の創立以来のモットーである〝楽しむサッカー〟をこれからも続け試合当日に出席した人は全員出場することも考えていきたいと思います。

社会人リーグにはいってから、協会役員、先輩チームの人達にお世話になりっぱなしですが、今後もご指導をよろしくお願いいたします。

三井フロロケミカルサッカー部

監督　狩野茂
マネージャー　谷上和応
創立年月　42年4月

昭和四十二年、清水工場内の有志にて結成される。

昭和四十三年、市協会加盟、社会人Cリーグに参加

昭和四十四年、Bリーグに昇格

昭和四十六年、Aリーグに昇格

発足当時は経験者も少なく二名であったが現在は五名と増え、Aリーグの中堅として頑張っている。

昭和四十九年にグランド設立、リーグ戦もここで行われ、練習場にも恵まれているが、三交替勤務のため全員揃ってやることが難かしい。

発足以来八年間の公式戦通算勝率は五割強である。